



地域とともに

教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

Tel 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

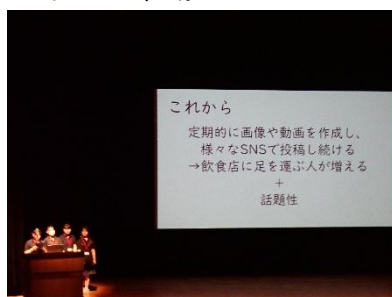
HP <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

3年生・探究成果発表会を開催しました！

7月17日(金)、大樹町生涯学習センター「コスモスホール」で、3年生がこれまでの『地域デザイン』の時間に積み重ねてきた探究の成果を堂々と発表しました。

ここに至るまでの間、お忙しい中、生徒たちの探究活動を温かく見守り、インタビューや共同開発など、様々な場面で生徒を導いてくださいました地域のみなさまに感謝申し上げます。さらに、発表会にも多くの方にご来場いただきました。心よりお礼申し上げます。



今回は、12の発表がありました。アイデアの多様性と、何よりも大樹町への愛着を感じるものが多かったです。探究での学びは、机の上だけで完結するものではなく、実際に地域へ飛び出し、地域の方々から「見たり、聞いたりして、自分たちで検証した」生きたプロセスそのものです。

「食と特産品」へのアプローチでは、大根農家さんへの体験からレシピを作ったグループ、ハスカップとクリームチーズのクッキーサンドを検討したお土産の提案、道の駅や事業者さんと協力した魚のレシピ開発など、大樹の豊かな恵みをさらに広めたいという熱意が伝わりました。

「地域の課題解決」に向き合った探究では、有害鳥獣被害を減らすためのセンサー装置の検討や、猟師の仕事を伝える小学校での出前授業の企画、空き家問題に対するチラシ作成、ゴミ削減と地域交流を目指すフリーマーケットの企画、さらには高齢者の方々へインタビューを行い、日常の困りごとに寄り添ったイベントや「わくわくクッキング」を提案するなど、どれも優しさと真剣な視点にあふれていました。

「情報発信と魅力化」の視点では、飲食店のPR動画を作って反応を調査したり、TikTokやYouTubeのショート動画で、大樹高校の魅力を発信したり、入学者増に向けて教職員やサークル活動の仲間にインタビューをしたりしていました。そして「宇宙のまち」大樹町を足元から支えるため、宇宙産業の座談会を実際に授業で実施し、検証まで行った人もい



北海道大樹高等学校 普通科地域探究科通信 令和8年度第13号 令和8年(2026年)7月27日
ました。

どの発表も、地域の大人たちを巻き込み、一歩前へ踏み出す行動力が伴っていました。

3年生は探究を進める中で、きっと多くの「変化」を経験したはずです。「最初はこう思っていたけれど、実際にインタビューをしたら違った」、「試作したら上手くいかなかった」。そうした壁にぶつかったとき、諦めずに軌道修正し、自分たちなりの提案へと繋げました。



あらかじめ用意された正解を覚えるだけの勉強とは違い、この『地域デザイン』の活動には答えがありません。正解がない中で、仲間と議論を交わし、地域の方々の声を聴きながら納得解を導き出したこの経験こそが、大きく、たくましく成長させます。

3年生は、これからそれぞれの進路へと進み、やがて社会へと羽ばたきます。これからみなさんが生きていく時代は、変化が激しく、まさに「正解のない問い」の連続です。そんなとき、大樹高校のこの『地域デザイン』で培った「自ら問いを立て、行動し、地域を巻き込んで解決へ向かう力」は、必ずみなさんの行く手を照らす強力な武器になります。



大樹町は、最初は「無理だ」と言われていた宇宙への挑戦を、熱意と行動力で現実のものにしてきた「挑戦の気風」に満ちた町です。その大樹町で学び、これほど素晴らしい探究をやり遂げたみなさんなら、これから出会うどんな未来の壁も、必ず乗り越えていけると信じています。3年生のみなさんの今後の大いなる飛躍を心から応援したいと思います。

最後に、改めて、学校を支えてくださるすべてのみなさまに改めて感謝申し上げます。

「大樹高校応援！町民ミーティング」開催

100名を超える参加者、ありがとうございました。

大樹高校への入学者数増・確保のため、大樹町として、大樹町民として何ができるか、高校はどういったことができるかといった、ご意見を伺う機会として、大樹高校活性化推進協議会（大樹町）主催で7月14日（火）18時30分から約2時間にわたり、大樹町生涯学習センターコスモスホールで開催されました。

当日は、町民のみなさまをはじめ、大樹町議会議員、行政・教育機関関係者等、100名を超える方が参加し、黒川大樹町長、大樹高校長、大樹町学校教育委員会からの説明の後、16のグループに分かれて、活発な意見交換が行われました。

いただいた意見を参考に、「できること」から積極的に取り組んでいきたいと思っています。